

---

# 私のような貴方へ

林檎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私のような貴方へ

### 【コード】

NO111E

### 【作者名】

林檎

### 【あらすじ】

なんの脈絡もなくただつらつらと書いてみた詩のようなものです。

貴方と居ると、とても静か。

心は穏やかな海。

静かに波の音がする。

いつか死ぬ時が来るとすれば、こんな気持ちで居られたらいいのに。

貴方も私も同じような気持ち。

同じ不安。

変化しやすい感情。

一人になれば不安になる。

どちらかが自分の知らない場所で、息をしている事が不安になる。

貴方の洋服はいつも、触り心地が良さそう。

だけど触れない。

一度も触れた事が無い。

あの日、雪で凍り付きそうだった貴方の指先を温める事も出来なかった。

まだそんな距離じゃない。

だけど、とても素敵だと思う。

触れた事の無い相手は、何故か尊い。

もしも触れてしまえば、何か変わってしまうような気がするから。

私は怖くなどない。

きつと貴方もそう。

そして貴方もちゃんと分かっている。

物事にはいつか終わりがやって来て、何もかも記憶の片隅に飲み込んでいってしまうことを。

大丈夫。

その分今を大切に出来ると思うから。

貴方の呼吸の音は、悲しいような幸せなような不思議な感じ。

音の無い打ち上げ花火のように、静かな美しさで儂さ。

眩しくなんてないのに、私はいつも目を細めてその横顔を眺めている。

気付くと貴方も同じようにして私を見つめて居たりする。

愛していると、何度言われるよりも貴方の笑顔が嬉しい。

私の言葉に笑って欲しい。

ほんの少しでもいいから、笑って欲しい。

私も自然と笑うから。

桜は咲いてもまだまだ寒い。

昼下がりの夢から覚めた時、とても寂しい。

胸の霧が濃くなっているような気がして。

貴方もこんな胸苦しさを味わったりするのだろうか。

あんなに近くに居たのに、お互いの心に空いている大きな風穴は冷え切っているのか。

埋められなくとも、これからも一緒に居るのか。

私は今日もあの歌を子守歌に目を閉じる。

不思議に涙が出て来る。

悲しくなどないのに。

一度大きく深呼吸すると、苦しい事全てが流れて一瞬だけ消える。

貴方もこんな夜を過ごすだろうか。

霧の中に浮かぶ満月のようにぼんやりした夜。

海面に桜の花びらが大量に浮かんでいる。

夜の海が眩しい。

側に居て欲しい誰かに焦がれる時、孤独はその色を濃くする。

私も貴方も、もう懲り懲りなのについての間にかまた、人を信じてしまふ。

感情の波が激し過ぎて、息さえもどかしい。

誰かの全てを分かるうだなんて、到底不可能な話。

私は今日、一人様々な想いを巡らせながら貴方に恋をしていると  
気付いた。

空が寒い。

カーテンを冷やす。

この街の何処かを今一人歩く貴方に、私は何もしてあげられない。  
だから今度貴方の隣に座る時には、せめていつものように沢山笑っ  
ていよう。

この街の隅々まで二人の面影を残そう。

いつか全てが幻のように思えた日には、幸せだった事を確かに思い  
出せるように。

貴方の心が、今この瞬間、少しでも穏やかである事を願って。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0111e/>

---

私のような貴方へ

2010年12月13日15時46分発行